

後

(2) 年

ゴ・コウ
のち・うしろ
あと・おくれ

9画
イ イ 後 後 後

なりたち 道の意味のイと、足の意味の又と、幼の意味の々との会意字。道を歩く幼児の足が遅く「おくれる」ことを表した字。「うしろ」になること。「あと・のち」。



いみじゆく
▼おくれる。
後生：後れて生まれた人。後輩。
用例 後生恐るべし。
後家：夫の死んだ後、再婚しないでいる女の人のこと。

▼うしろ。
後方：後ろの方。
後退：後ろにさがること。前退

▼あと・のち。
後悔：あとで悔やむこと。
後天：生まれたあと、身に備わること。例 後天的性質
絶後：このあと二度と無いほどのこと。例 空前絶後

▼よみかた
気後れ
後始末・後ろ姿

後得

得

(4) 年

トク
える・うる

11画
イ 得 得 得 得

なりたち 本字は得で、手の意味の寸と、財貨の意味の貝との会意字。「財貨を手に入れる」という意味の字。故に得は「行つて財貨を手に入れる」という意味。今は、単に「手に入れる・える・得をする」という使い方が多い。



いみじゆく
▼手に入れる。とる。
獲得：努力して手に入れること。

取得：手に入れること。
取得：収め入れること。
拾得：落とし物を拾うこと。
理解：落として受け入れる。

▼もうける。得をする。
得失：もうけと損失。用例 得失を配慮する。
利得：もうけ。利益。
得策：得な方法。有利な方策。
一挙両得：ただ一つの行動で二つの利益があること。

▼よみかた
得休・得手・得意
得得・得票・会得・感得・既得・生得・体得・役得

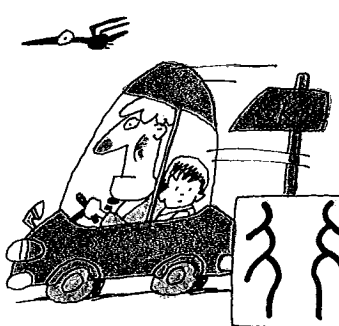
行

(2) 年

おん
コウ・ギョウ
アン
いく・ゆく
おこなう

6画
ナ 行 行 行

なりたち 人が行きかう道の形をかたどった字で「いく」という意味を表した指事字。また、「いく」ということは人間が行為(おこない)であるから、「おこなう」という意味にも使われる。



いみじゆく
▼いく。
行進：大勢で列をつくって進んで行くこと。
行楽：家から離れた所へ行って楽しむこと。例 行楽地
通行：道を通って行くこと。
進行：物事を進めていくこと。
物事が進んでいくこと。用例 運動会の進行係。

▼おこなう。
行動：物事をおこなうこと。
実行：実際におこなうこと。
訓練：訓練する。

▼並んでいるもの。
行列：並んだ列。
よみかた 行脚・行政・流行
さんこう 特別なよみかた↓
行方

行街

街

(4) 年

ガイ・カイ
まち

12画
イ 街 街 街 街

なりたち 道の形をかたどった行と圭(イ)との形声字。土は人が両手を広げた形、大の変形であるから、圭を複数の人と見て、人通りの多い「まち」を表したものと見ることが出来る。「まち・大通り」。



いみじゆく
▼まち。大通り。
市街：①人通りの多い通り。
②人家の立ちならんだ所。
商店街：商店が並んだ通り。
繁華街：にぎやかな通り。
街灯：道の端に取り付けられた電灯。

▼よみかた
街角
ミニ知識 五街道は江戸時代に、江戸(今の東京)の日本橋を中心とした、五つの主要道路のこと。東海道・中山道(各々)・日光街道・甲州街道・奥州街道。

